

1. 総論	1
1.1 本資料の位置付け	1
1.2 災害復旧の基本的な考え方	5
2. 災害復旧事業	15
2.1 基本的な考え方	15
2.2 河川における災害復旧事業のポイント	17
2.3 復旧工法検討の流れ.....	20
2.4 河川・環境特性及び被災原因の把握等.....	22
2.4.1 河川特性・環境特性の把握	23
2.4.2 被災原因の分析	24
2.4.3 河川環境の把握.....	33
2.4.4 周辺環境の確認と重点箇所の判定.....	39
2.4.5 申請書類の作成	43
2.5 護岸工法.....	50
2.5.1 護岸工法の考え方	50
2.5.2 法覆工.....	63
2.5.3 基礎工.....	115
2.5.4 根固工.....	116
2.5.5 根継工.....	120
2.5.6 天端工・天端保護工、小口止め、水抜きパイプ等の付帯工.....	122
2.5.7 覆土・寄石.....	128
2.5.8 申請工法概要の記入とチェックリストの活用.....	134
2.6 水制	135
2.7 床止め.....	137
2.8 施工及びフォローアップ	140
2.8.1 施工時の留意点	140
2.8.2 施工時に期待される工夫.....	141
2.8.3 フォローアップ（施工後のチェック、モニタリング）	143
3. 改良復旧事業	145
3.1 改良復旧事業のポイント	145
3.2 改良復旧事業の検討の流れ.....	149
3.3 河川・環境特性及び被災原因の把握等.....	153
3.3.1 河川特性・被災状況の把握	153
3.3.2 被災原因の分析	162
3.3.3 環境特性の把握.....	164
3.4 改良計画区間および改良計画流量の設定	179
3.4.1 改良計画区間の設定.....	179
3.4.2 改良計画流量の設定.....	180
3.5 河道計画の考え方	182
3.5.1 河道計画の基本的考え方	182
3.5.2 河道計画の基本方針の策定	183
3.5.3 河道計画の検討	186
3.6 河畔樹木に関する基本的な考え方.....	202
3.7 設計・施工・維持管理上の問題点(課題)チェック	204
3.8 改良復旧計画書の作成.....	205
3.9 施工及びフォローアップ	206
3.9.1 施工時の留意点	206
3.9.2 フォローアップ（施工後のチェック、モニタリング）	206

卷末資料

I. 設計流速の算定に関する参考資料

1. 粗度係数…………… I - 2
 - (1) 粗度係数の考え方…………… I - 2
 - (2) 河床部の粗度係数…………… I - 3
 - (3) 高水敷部の粗度係数…………… I - 4
 - (4) 護岸（法面）部の粗度係数…………… I - 6

2. 設計流速…………… I - 8
 - (1) 設計水位…………… I - 10
 - (2) 平均流速…………… I - 11
 - (3) 最大洗掘深…………… I - 11
 - (4) 補正係数…………… I - 16
 - (5) 設計流速の算定…………… I - 19